

J.D. パワー報道用資料：

米国における新車の初期品質が過去最高になったことが、J.D. パワーの調査で明らかに
ブランド別ランキングでは起亜が2年連続で第1位

**※本報道資料は、日本時間6月22日午前2時00分に米国で発表された資料を翻訳したものです。
(日本発表:6月22日午前10時)**

米国カリフォルニア州コスタメサ：2017年6月21日—J.D. パワーが本日発表した2017年米国自動車初期品質調査SM (Initial Quality Study、略称 IQS) で、今年の新車の初期品質が昨年から8%と大幅に改善し、過去最高水準となったことが明らかになった

本調査は、車両購入後90日間での新車の品質を調べるものである。初期品質は、100台当たりの不具合指摘件数 (PP100) として算出され、数値が小さいほど不具合指摘件数が少なく品質が良いことを示す。

今年の調査では、新車の初期品質は8カテゴリー中7カテゴリーで向上した。また、当調査の対象となった33ブランドのうち27ブランドで初期品質が向上した。

J.D. パワーのグローバル・オートモーティブ部門バイス・プレジデントのデイブ・サージェントは「自動車メーカーは消費者のフィードバックに応え、最高品質の車両を生産している。自動車業界は、過去3年の間に年々、大幅な改善を見せている。現代の車両には、不具合を発生し得る装備や機能が増えているが、実際には報告されている不具合は減少している」と述べている。

主な調査結果

- **技術は向上しているものの問題は残る**：オーディオ/コミュニケーション/エンターテインメント/ナビゲーション (ACEN) は、依然として新車のユーザーが最も多く不具合を経験しているカテゴリーである。その一方で、このカテゴリーの不具合指摘件数は、昨年から2.7PP100減少して22.8PP100となっており、この減少幅は8カテゴリー中最も多い。
- **自動運転技術に対する早期警鐘**：今年の調査で唯一、初期品質が悪化したカテゴリーは装備品/コントロール/ディスプレイだった。特に、クルーズ・コントロール (主にアダプティブ・クルーズ)、車線逸脱警告システム、衝突回避/警告システム、死角警告システムで最も不具合件数が増えた。これらの機能は、自動運転車を構成する要素の一部から成る機能で、ユーザーが指摘する不具合の増加は、自動車メーカーやサプライヤーに対する警鐘とも取れる。運転制御を自動運転車に任せようになる前に、このようなシステムは誰にでも扱えるシステムであるということを、ユーザーが納得する必要がある。
- **米国系ブランドは引き続き改善**：「デトロイトスリー」の初期品質は、昨年に続き輸入ブランドを上回っていたが、これは1987年に当調査を初めて発表して以来、3回目である。今年、米国系ブランドの不具合指摘件数は93PP100と、輸入ブランドの99PP100よりも少なかった。昨年も、米国系ブランドの不具合指摘件数は103PP100と、輸入ブランドの106PP10よりも少なかった。

「米国の自動車初期品質調査は、車両品質に関するユーザーのフィードバックに自動車メーカーが応えることが極めて重要であることを示し続けている。現状にとどまっている自動車メーカーは、あっという間に後れを取るようになるだろう。ユーザーにとって良かったことは、すべてのモデル・セグメントで大幅に改善しているため、高品質の車両を購入するのに大金を費やす必要はないということだ」とサージェントは述べている。

ブランド別ランキング

ブランド別ランキングでは、**起亜**が 72PP100 で 2 年連続、第 1 位となった。

第 2 位は**ジェネシス** (77PP100)、第 3 位は**ボルシェ** (78PP100)、第 4 位は同率で**フォード**と**ラム** (86PP100)が入った。

新車の初期品質が最も改善したブランドは**ミニ**で、昨年から 33PP100 改善した。他には、**ラム** (28PP100 の改善)、**アキュラ** (19 PP100)、**ボルボ** (18PP100)、**フォード** (16PP100) で大きな改善が見られた。

セグメント別ランキング

セグメント別ランキングでは、現代自動車 が 5 モデルでアワードを受賞して最多となり、続いてゼネラルモーターズと BMW のそれぞれ 4 モデルがアワードを受賞した。

- 現代自動車：起亜・カデンツァ、起亜・フォルテ、起亜・ニロ、起亜・ソレント、起亜・ソウル
- ゼネラルモーターズ：シボレー・シルバラード、シボレー・シルバラード HD、シボレー・ソニック、GMC・テレイン
- BMW：BMW・2 シリーズ、BMW・4 シリーズ、BMW・X6、ミニ・クーパー

その他に、クライスラー・パシフィカ、フォード・エクスペディション、フォード・マスタング、インフィニティ・QX80、レクサス・GS、メルセデス・ベンツ・GLA、日産・フロンティア、ボルシェ 911、ボルシェ・マカン、トヨタ・カムリがセグメント別アワードを受賞した。

プラントアワード

レクサス・ES およびレクサス・RX を製造するトヨタ自動車の九州第 2 工場（日本）が、不具合指摘件数が最も少ないモデルを生産してプラチナ賞を受賞した。プラントアワードには設計不具合は含まれず、製造不具合のみに基づいている。北米/南米地域では、シボレー・シルバラードおよび GMC・シエラを製造するゼネラルモーターズのフォートウェイン工場（インディアナ州）がゴールド賞を受賞した。また、欧州/アフリカ地域では、ボルシェ・カイエンおよびボルシェ・マカンを製造するボルシェのライプツィヒ工場がゴールド賞を受賞した。

過去の米国 IQS の振り返り

- 米国 IQS 調査を初めて発表した 1987 年、ブランド別ランキングでは**メルセデス・ベンツ**が第 1 位、モデル別ランキングでは**トヨタ・クレシーダ**が第 1 位だった。
- 米国系ブランドの初期品質が輸入ブランドを上回ったのは、2010 年、2016 年、2017 年の 3 回のみである。
- ノンプレミアム系ブランドの初期品質がプレミアム系ブランドを上回ったのは、2006 年、2016 年、2017 年の 3 回のみである。
- 当調査は、IQS1 (1987~1997 年)、IQS2 (1998~2005 年)、IQS3 (2006~2012 年)、IQS4 (2013 年~現在) の 4 つの世代に分かれている。新車の初期品質は、繰り返し大幅に向上しており、各世代とも最後の年に IQS スコアが最高となっている。

2017 年の米国自動車初期品質調査は、2017 年型車を購入もしくはリース契約した約 80,000 人の対象者に、購入（またはリース）後 90 日を経ってから調査した回答を基にしている。本調査は、8 カテゴリーに分けられる 233 の質問から構成され、自動車メーカーに不具合の特定を促し、車の改善に役立つ情報を提供することを目的としている。本調査は、2017 年 2 月から 5 月にかけて実施された。

初期品質の調査結果の詳細、および車両モデルの写真や仕様は、[jdpower.com/quality](http://www.jdpower.com/quality)に掲載している。

2017年米国自動車初期品質調査の詳細については、下記リンクをご覧ください。（英語版）

<http://www.jdpower.com/resource/us-initial-quality-study-iqs>

当調査の英語版プレスリリースは、下記リンクをご覧ください。

<http://www.jdpower.com/pr-id/2017085>

*J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<J.D. パワーについて>

J.D. パワー（本社：米国カリフォルニア州コストメサ）は、顧客満足に関するインサイト並びにパフォーマンス改善のためのソリューションを提供している国際的なマーケティング情報サービス企業である。毎年、世界中で数百万人にのぼる消費者やビジネス・ユーザーを対象に、品質や顧客満足に関する調査を実施している。北米、南米、ヨーロッパとアジアに計17の拠点を有する。アジア・パシフィックではシンガポール、北京、上海、バンコク、マレーシアに拠点をもち、日本、オーストラリア、中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナムで調査を行っている。また、J.D. パワーは Athene Li, Joseph Pacini, Murphy Qiao and Carsten Geyer の4人の創業者によって率いられる、ロンドンに本社を置く国際的なオルタナティブ投資会社である X10 グループの投資先企業のひとつである。詳しくは当社ウェブサイト <http://japan.jdpower.com> まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

（株）J.D. パワー アジア・パシフィック コーポレート コミュニケーション

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 メトロシティ神谷町（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8060 F A X： 03-4550-8152 e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

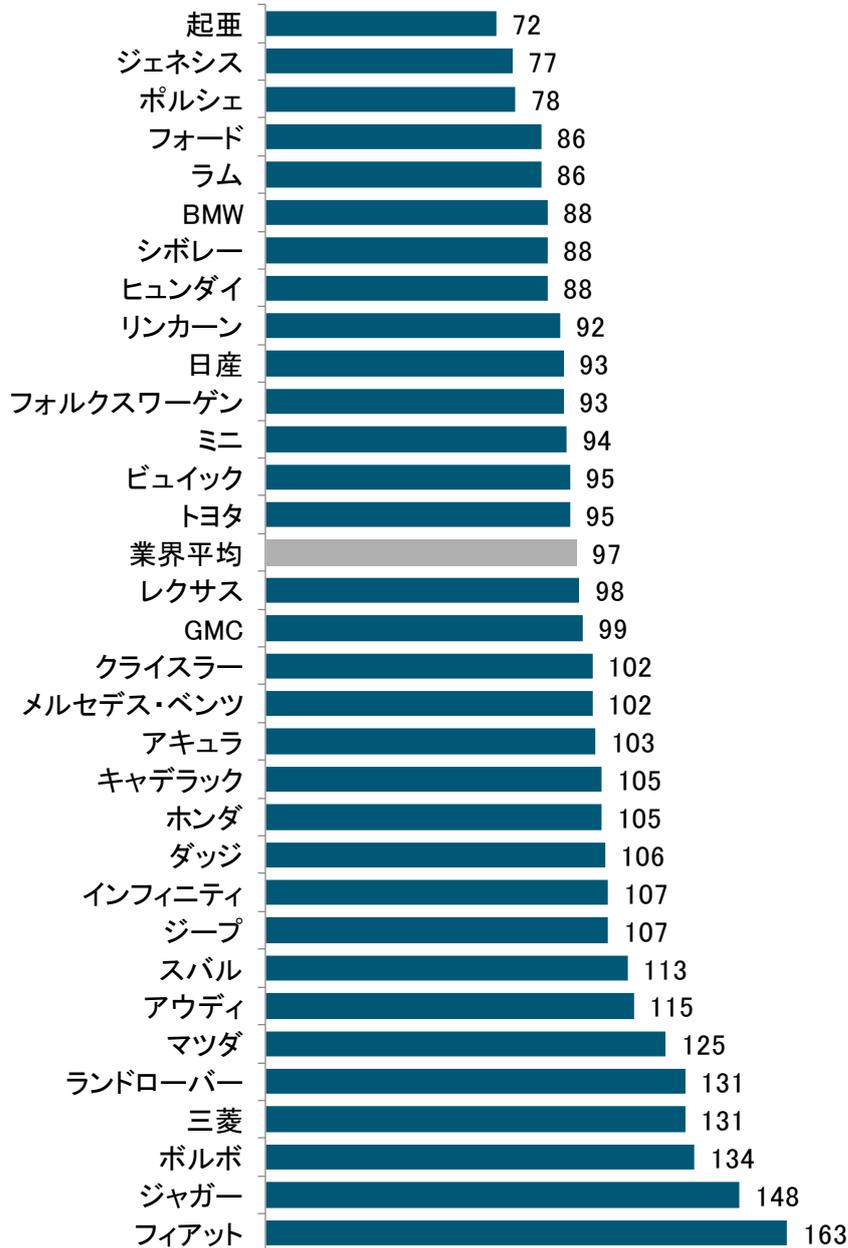
<ご注意>

本紙は報道用資料です。（株）J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM(IQS)

ブランド別ランキング

(100台当たりの不具合指摘件数:PP100)



注) スマートは不十分サンプルのためランキングには含まれていません。

出展: J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM(IQS)

本報道用資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM)を明記してください。ランキングは数値スコアに基づいており、必ずしも統計上の優位性に基づくものではありません。J.D. パワーから事前に書面による明示的同意を得ない限り、本報道用資料またはJ.D. パワーの調査結果から得た情報を広告または販促活動に使用することを禁じます。

J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM(IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル 乗用車、マルチ・パーパス・ビークル(MPV)、バン・セグメント

スモール

第1位:シボレー ソニック

トヨタ ヤリス
ホンダ フィット

スモール・プレミアム

第1位:BMW 2シリーズ

BMW i3
レクサス CT

コンパクト

第1位:起亜 フォルテ

シボレー クルーズ(同率)
トヨタ カローラ(同率)
フォルクスワーゲン ジェッタ(同率)

コンパクト・スポーティー*

第1位:ミニ クーパー

コンパクトMPV*

第1位:起亜 ソウル

コンパクト・プレミアム

第1位:BMW 4シリーズ

レクサス ES
キャデラック ATS

* セグメント平均を上回るモデルが受賞モデル以外にないカテゴリー。

注) 受賞対象セグメントとしたのは、必要サンプル数を満たしたモデルが3モデル以上あり、かつランキング対象モデルでマーケットシェア80%以上を満たしたセグメントのみ。「シティ」、「コンパクト・プレミアム・スポーティー」はこの要件を満たさなかったため、受賞対象セグメントとしなかった。

新車の品質性能に関する調査結果の詳細は、
www.jdpower.com/qualityをご参照ください。

出展: J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM(IQS)

本報道用資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM)を明記してください。ランキングは数値スコアに基づいており、必ずしも統計上の優位性に基づくものではありません。J.D. パワーから事前に書面による明示的同意を得ない限り、本報道用資料またはJ.D. パワーの調査結果から得た情報を広告または販促活動に使用することを禁じます。

J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル

乗用車、マルチ・パーパス・ビークル(MPV)、バン・セグメント(続き)

ミッドサイズ

第1位:トヨタカムリ

起亜 オプティマ

日産 アルティマ

ミッドサイズ・プレミアム・スポーティー*

第1位:ボルシェ 911

ラージ

第1位:起亜 カデンツァ

トヨタ アバロン

日産 マキシマ

ミッドサイズ・スポーティー*

第1位:フォード マスタング

ダッジ チャレンジャー

ミニバン*

第1位:クライスラー パシフィカ

ダッジ グランドキャラバン

ミッドサイズ・プレミアム

第1位:レクサス GS

リンカーン コンチネンタル

アウディ A7

* セグメント平均を上回るモデルが受賞モデル以外にないカテゴリー。

注) 受賞対象セグメントとしたのは、必要サンプル数を満たしたモデルが3モデル以上あり、かつランキング対象モデルでマーケットシェア80%以上を満たしたセグメントのみ。「ラージ・プレミアム」はこの要件を満たさなかったため、受賞対象セグメントとしなかった。

**新車の品質性能に関する調査結果の詳細は、
www.jdpower.com/qualityをご参照ください。**

出展: J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

本報道用資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM)を明記してください。ランキングは数値スコアに基づいており、必ずしも統計上の優位性に基づくものではありません。J.D. パワーから事前に書面による明示的同意を得ない限り、本報道用資料またはJ.D. パワーの調査結果から得た情報を広告または販促活動に使用することを禁じます。

J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル スポーツ・ユーティリティ・ビークル(SUV)、ピックアップ・セグメント

スモールSUV

第1位: 起亜 ニロ
起亜 スポーテージ
ビュイック アンコール(同率)
フォルクスワーゲン ティグアン(同率)

スモール・プレミアムSUV*

第1位: メルセデス・ベンツ GLA
BMW X1

コンパクトSUV

第1位: GMC テレイン
フォード エスケープ
シボレー エクイノックス

コンパクト・プレミアムSUV

第1位: ポルシェ マカン
BMW X3
BMW X4

ミッドサイズSUV

第1位: 起亜 ソレント
トヨタ ハイランダー
ビュイック アンクレイブ

ミッドサイズ・プレミアムSUV

第1位: BMW X6
BMW X5
ポルシェ カイエン

ミッドサイズ・ピックアップ

第1位: 日産 フロンティア
シボレー コロラド
ホンダ リッジライン

ラージSUV

第1位: フォード エクスペディション
シボレー タホ
トヨタ セコイア

ラージ・プレミアムSUV

第1位: インフィニティ QX80
リンカーン ナビゲーター
メルセデス・ベンツ GLS

ラージ・ライトデューティー・ピックアップ

第1位: シボレー シルバラード
ラム 1500
トヨタ タンドラ

ラージ・ヘビーデューティー・ピックアップ*

第1位: シボレー シルバラードHD
フォード スーパーデューティー

* セグメント平均を上回るモデルが受賞モデル以外にないカテゴリー。

新車の品質性能に関する調査結果の詳細は、
www.jdpower.com/quality をご参照ください。

出展: J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

本報道用資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM)を明記してください。ランキングは数値スコアに基づいており、必ずしも統計上の優位性に基づくものではありません。J.D. パワーから事前に書面による明示的同意を得ない限り、本報道用資料またはJ.D. パワーの調査結果から得た情報を広告または販促活動に使用することを禁じます。

J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

2017年プラントアワード受賞工場

(米国市場向け生産モデルが対象)

100台当たりの不具合指摘件数
(製造不具合のみ)

生産モデル

プラチナ賞			
	トヨタ自動車-九州第2 (TMK) 日本	15	レクサス ES、レクサス RX
北米/南米			
	ゼネラルモーターズ-フォートウェイン (インディアナ州) ゴールド賞	17	シボレーシルバード、 シボレーシルバードHD、GMCシエラ、 GMCシエラHD
	トヨタ自動車-ジョージタウン3 (TMMK) (ケンタッキー州) シルバー賞	18	レクサス ES
	トヨタ自動車-ジョージタウン1 (TMMK) (ケンタッキー州) ブロンズ賞	19	トヨタ アバロン、トヨタ カムリ
アジア太平洋*			
	トヨタ自動車-元町第1 (日本) シルバー賞	17	レクサス GS
	トヨタ自動車-高岡第2 (日本) シルバー賞	17	トヨタ カローラ、トヨタ プリウスv、 トヨタ RAV4
欧州/アフリカ			
	ポルシェAG-ライプツィヒ (P) (ドイツ) ゴールド賞	17	ポルシェ カイエ、ポルシェ マカン
	BMW AG-ディンゴルフィン02 (ドイツ) シルバー賞	18	BMW 6シリーズ、BMW 7シリーズ
	ダイムラーAG-ジンデルフィンゲン2 (ドイツ) シルバー賞	18	メルセデス・ベンツ AMG GT、 メルセデス・ベンツ Sクラス

*トヨタ自動車が、初期品質において世界第1位のアセンブリ工場に与えられるプラチナ賞を受賞したため、アジア太平洋地域におけるゴールド賞はありません。

出展: J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM (IQS)

本報道用資料に使用されている図表およびグラフを引用するには、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー 2017年米国自動車初期品質調査SM)を明記してください。ランキングは数値スコアに基づいており、必ずしも統計上の優位性に基づくものではありません。J.D. パワーから事前に書面による明示的同意を得ない限り、本報道用資料またはJ.D. パワーの調査結果から得た情報を広告または販促活動に使用することを禁じます。